

まちの話題

① 輝く未来へ出発

和水町開庁式



▲和水町誕生を祝ってのテープカット

3月1日（水）、和水町の誕生に伴い、本庁舎となる旧菊水町役場で開庁式が行われました。

式典では、役場前に新町旗を掲げ、新庁舎銘板の除幕とテープカットが行われ、新町の誕生を祝いました。

和水町は人口約1万1千9百人。面積99平方キロメートル。「希望あふれ、人と地域が輝くまちを将来像に、未来に向かって語り継がれるまちづくりを町民のみなさんと一緒に進めていきたい」と和水町長職務執行者が挨拶をされました。

総合支所となる旧三加和町役場でも開庁式が行われ、新たな希望を胸に和水町スタートです。



すばらしい自衛官を目指し

自衛隊入隊者合同激励会



▲今年入隊を予定されている9名の入隊者のご家族のみなさん

3月4日（土）、自衛隊父兄会玉名・荒尾地区協議会の主催により、玉名市民会館で、玉名・荒尾地区自衛隊入隊者合同激励会が開催されました。

当日は、専修大学玉名高校吹奏楽部のみなさんの音楽演奏もあり、激励会は大盛況となりました。

和水町となって最初となる今年は、総勢9名の方が入隊を予定されています。4月には、それぞれ全国各地の駐屯地へと配属されます。新入隊者の皆様のご健闘とご活躍を祈念いたします。

創意開発部門で優良賞受賞

第46回熊本県農業コンクール大会



▲受賞された金栗孝義さん

2月17日に開催されました第46回熊本県農業コンクール大会で、金栗孝義さん(中林)が創意開発部門で優良賞を受賞されました。この大会は、農業の近代化を促進し、企業的農業経営の育成など、熊本県農業の発展

を図ることを目的に、熊本県・各農業団体・熊本日日新聞社が主催し、昭和35年度に始まった歴史ある大会で、これまで県内の先進的な農業者や地域リーダーに対し表彰を行っています。
今回金栗さんは、いちごの収量増・着色ムラの軽減、作業の効率化を実現した『金栗式高設栽培装置』を考案し、イチゴ栽培の先進的な事例として評価されました。受賞おめでとうございます。

②熊本県知事表彰を受賞

熊本県民健康づくり大会



▲受賞された三串歯科医院の加藤輝子先生

2月1日に開催された、熊本県民健康づくり大会で、三串歯科医院の加藤輝子医師(上吉地)が、医事功勞者として熊本県知事表彰を受賞されました。
昭和56年から25年にわたる地域の歯科医療保健の向上のため、ご尽力いただきました。その結果、旧三加和町の3歳児健診では虫歯保有率がほぼ半減し、現在は37%程度になっています。受賞おめでとうございます。

③おめでとうございませう

きくすい荘誕生会



▲九州看護福祉大学の生徒さん披露のエイサー

3月14日(火)、和水町特別養護老人ホームきくすい荘で、誕生会(3月)が行われました。
九州看護福祉大学の生徒さんによる山鹿灯笼踊りや、エイサーが会場を盛り上げ、入所者のみなさんも踊ったり歌ったりと、楽しい時間を過ごされました。
誕生会は毎月行われており、その月の誕生の方をみんなで祝います。楽しい誕生会にぜひ遊びに行ってください。

④親子で手芸教室

ピノッキオルーム



▲お母さんとモールフラワー作り

3月15日(水)、菊水ひまわり園で、子育て支援センター『ピノッキオルーム』による手芸教室がありました。
大勢の親子が参加された今回の手芸教室は、モールを組み合わせて、プチバスケットやモールフラワーを作ろうという企画でした。
みんな上手にはさみを使ったり、モールをいろいろな形に折り曲げたりして、それぞれのプチバスケットやモールフラワーを作っていました。